

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 消防用器具機材購入事業（業務用高温高圧洗浄機）
-------------------	--------------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	2	消防・救急救助体制の充実
小分類	2	消防力の強化・高度化
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化
事務事業番号	015	事務事業コード 23221015 事業開始年度 昭和 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 5 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	消防用器具機材購入事業(業務用高温高圧洗浄機)
------	------	------------	-------------------------

部 名	消防署	グループ名	警防救急 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 消防職員
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 各支署に配置することで車両及び消火活動後のホース等汚れが落ちにくい物も洗浄でき劣化等を防ぐ。 配置場所 消防署 登別温泉支署 鷲別支署 登別支署
目指す姿（成果）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 冬期間の車両下回りに付着し腐食の原因になる塩化カリウム等を高圧洗浄することで腐食を防ぎ車両の延命を図る。 また、圧力と水量を調節できるのでその場に適した高圧水が利用でき使用水量の軽減にもなる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		台	目標値	1			1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	728			730	730	1,460
合 計				728	0	0	730	730	1,460
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	40	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		40	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
車両及び資機材等の延命を図り、使用水量を軽減するため妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
車両及び資機材等の落ち難い汚れの洗浄が簡単にでき、作業時間の短縮と使用水量を軽減することができた。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？
車両及び資機材等を高圧洗浄することにより、冬期間の塩化カリウム等から腐食を防ぐと共に延命を図り、作業時間の短縮と使用水量を軽減することができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？
車両及び資機材等を高圧洗浄し腐食・劣化を防ぐと共に延命を図り、作業時間・水量軽減の効率化を図るため経費削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	車両及び資機材等の落ち難い汚れを高圧洗浄することで腐食・劣化を防ぎ、車両等の延命を図り、さらに洗浄時間の短縮と使用水量を軽減することで作業効率が向上し、消火力の充実強化につながる。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）